

# 始まっています 地域内交流!

仕事を分担することで行事をスムーズに運営!

## 「新南台自治会ふれあい・いきいきサロン」

「新南台自治会ふれあい・いきいきサロン」は平成17年に発足し、区長の立川さんが会長を兼ねている。いきいきサロンの行事は、18人の運営ボランティアが手分けして運営にあたっている。婦人会も組織され、行事で使う食材の買い出しや、調理なども行っている。また、行事ごとに申し送りノートを作成しているため、行事の運営もスムーズに行われている。

「新南台自治会ふれあい・いきいきサロン」は平成17年に発足し、区長の立川さんが会長を兼ねている。いきいきサロンの行事は、18人の運営ボランティアが手分けして運営にあたっている。婦人会も組織され、行事で使う食材の買い出しや、調理なども行っている。また、行事ごとに申し送りノートを作成しているため、行事の運営もスムーズに行われている。

「ポウリング大会には、毎回15人ほどが参加し、子どもから高齢者までさまざまな年代の人がゲームを楽しみます。ポウリング大会終了後は、集会所で表彰式を兼ねた反省会を開催し、ビールやジュース片手に様ざまな話に花を咲かせています」と会長は話す。

会長は、回覧で参加者を募り、参加人数を把握して、行事の予算を担当者に渡すところまでを仕事とする。回覧も会長といきいきサロンのパソコン教室参加者が協力して作成する。行事の運営は、担当者に一任されている。担当者の裁量で行事運営ができる。このため、どの行事も、とても充実していて、担当者も楽しみな

芋煮会で使う食材は、家庭菜園を楽しむ人が、採れたての野菜を寄付してくれるそうだ。また、自治会内の地方出身者が、様ざまな地方の味覚を差し入れてくれることも芋煮会の魅力のひとつになっている。このほか、自治会内の不用品を集めて、



①



②

①パソコン教室、②手芸教室の様子

「今後は、現在実施している行事を継続し、より一層充実させることで、多くの人に参加してもらいたい。そして、より良い新南台自治会にしていききたい」と会長は話してくれた。

## 毛呂山歴史散歩

文化財シリーズ215

### やぶさめサミット余話④

～幼な子と流鏝馬その共通点～

#### 幼な子が乗り子となる流鏝馬

3月13日の第2日曜日に出雲伊波比神社で春の流鏝馬が行われました。春の流鏝馬の特徴は、就学前の幼な子が乗り子となることです。昨年のやぶさめサミットの参加団体の一つである長野県大町市若一王子神社の流鏝馬も流鏝馬の射手は幼な子が務めます。また、茨城県土浦市日枝神社の流鏝馬では、射手ではありませんが、「一つ物」という子どもが登場します。

#### 華やかに着飾る共通点

この三つの幼な子の流鏝馬を比べて見ますと、いくつかの共通点が見えてきます。

まず一つは、華やかな笠をかぶっていること、二つ目は衣装も華やかであること、三つ目は毛呂山では行いませんが、射手の幼な子が化粧をすることです。

このように流鏝馬の射手が華やか

に着飾るのは「風流」の影響があったのではないかと思われまます。「風流」とは、人目を驚かすような華やかな服装や趣向を凝らした演出のことで、平安時代以降現れ、祭礼を華やかなものになりました。京都の祇園祭などはその典型といえます。

時代によって多少の変化もあったでしょうが、3つの流鏝馬の共通点は、幼児の射手の共通概念が存在したことを示す貴重な例といえるでしょう。



茨城県土浦市日枝神社の流鏝馬



長野県大町市若一王子神社の流鏝馬



出雲伊波比神社の春の流鏝馬